

5. 主な報道発表 (2025 年 9 月 1 日以降)

発表日	発表内容	詳細 ▼当社 HP
9 月 5 日	敦賀発電所の低レベル放射性廃棄物の輸送について 当社は本年 9 月、敦賀発電所の低レベル放射性廃棄物を日本原燃株式会社の低レベル放射性廃棄物埋設センター（青森県六ヶ所村）へ輸送します。低レベル放射性廃棄物専用の運搬船「青栄丸」が 9 月 6 日に敦賀発電所に入港し、出港は、専用コンテナ 180 個の積み込み作業等終了後の 9 月 13 日を予定しています。	
9 月 12 日	敦賀発電所の低レベル放射性廃棄物の輸送実績 荒天が予測されるため、輸送日程を 9 月 12 日に変更し、敦賀発電所を出港しました。	
9 月 16 日	敦賀発電所 2 号機 新規規制基準への適合性確認審査の申請に向けた追加調査の開始について 本紙「1. 敦賀発電所の状況」に、主な内容を記載しています。	
9 月 26 日	敦賀発電所 1 号機 クリアランス対象物に係る放射能濃度の測定及び評価方法の認可申請の補正について 当社は、2016 年 9 月 13 日、敦賀発電所 1 号機の運転・保守、廃止措置に伴って発生するクリアランス対象物に係る放射能濃度の測定及び評価方法の認可申請書を原子力規制委員会に提出しました。（2016 年 9 月 13 日お知らせ済み） その後、審査基準及び規則の制定を踏まえ、クリアランス対象物の変更及び測定・評価方法の変更を行い、2025 年 9 月 26 日、敦賀発電所 1 号機のクリアランス対象物に係る放射能濃度の測定及び評価方法の認可申請の補正書を原子力規制委員会に提出しました。 当社は、引き続き、原子力規制委員会の審査等に真摯に対応するとともに、安全確保を最優先に敦賀発電所 1 号機の廃止措置に取り組んでまいります。	

げんでんふれあいギャラリー 2025 年 10 月催し物案内

見る人が笑顔になる写真展 いけだ なおゆき GORAKU（代表:池田 直之 様）の皆様による写真展です。 見る人の心がほっと和み、思わず笑顔になってしまうような作品を 3 0 点展示予定です。	会 期	10 月 7 日（火）～10 月 12 日（日）	
きたむら す え こ 北村 寿恵子個展 和布くらふと	会 期	10 月 14 日（火）～10 月 19 日（日）	
当ギャラリーでは 2 回目となる、北村 寿恵子 様による着物リメイク作品展です。 暖簾やパンツ、ホーム着、袋物作品などを 6 5 点展示予定です。			

お問合せ

げんでんふれあいギャラリー 敦賀市本町 2 丁目 9-16
フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603
開館時間 9:30～16:30 休館日 12 月 29 日～1 月 3 日



◀こちらからげんでんふれあい
ギャラリーのホームページを
ご覧いただけます

イベントブース出展のお知らせ

本紙「3. コミュニケーション活動」の（3）に、主な内容を記載しています。

本資料のお問合せ先：日本原子力発電株式会社（略称：げんでん）敦賀事業本部 立地・地域共生部
TEL:0770-25-5713 住所：敦賀市本町 2 丁目 9-16

げんでん いんふおめーしょん 10 月号



敦賀発電所キャラクター げん丸

げんでん LINE
公式アカウント
お友達登録(無料)
はこちら▼

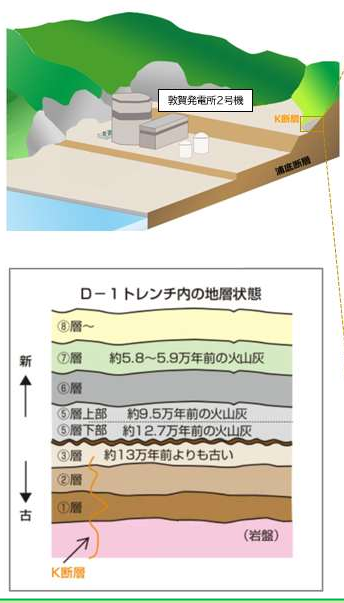


1. 敦賀発電所の状況 (2025 年 10 月 1 日現在)

プラント（炉型）	状 況
1 号機（沸騰水型） 	●廃止措置中 （2017 年 4 月 19 日～2047 年度） ○2015 年 4 月 営業運転終了 ○第 6 回定期事業者検査中（2024 年 3 月 27 日～2025 年 10 月中旬予定） ○建屋内廃棄物移送ルート等確保に伴う機器解体工事（2024 年 10 月 1 日～） ○軽油貯蔵タンク他解体工事（2025 年 4 月 21 日～） *廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物进行处理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。

2 号機（加圧水型） 	電気出力 116.0 万 kW, 1987 年 2 月 17 日の営業運転開始以降の総発電電力量 1923.0 億 kWh ●第 18 回定期検査中 （2011 年 8 月 29 日～） 敦賀発電所 2 号機 新規規制基準への適合性確認審査の申請に向けた追加調査の開始について
---	--

2025年9月16日、現地における追加調査に着手いたしました。
まずK断層の連続性調査に係る「ふげん道路ビット」の岩盤までの掘削作業から開始し、今後も準備が整った作業から、安全確保を最優先に順次進めてまいります。
当社は、引き続き敦賀発電所 2 号機の再申請、稼働に向けて取り組むとともに、当社の取り組み状況等について、地域の皆さまへの、丁寧な情報発信に努めてまいります。



（2025年9月16日 当社ホームページでお知らせ済み）



◀追加調査に関する内容など敦賀発電所 2 号機の新規制基準への対応については、当社ホームページからご覧いただけます

2. 敦賀発電所 3,4 号機準備工事の状況 (2025 年 10 月 1 日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理およびコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続しています。

敦賀発電所 3, 4 号機計画については、地元の皆さまから大きな期待を寄せていただいております。こうした期待に応えるべく、引き続き国のエネルギー政策や安全規制に係る状況などを踏まえながら、実現に向けた取り組みを継続してまいります。



建設予定地の状況（2025 年 9 月 29 日撮影）

3. コミュニケーション活動

(1)「敦賀まつり」に参加

9月2日～4日の3日間、敦賀市の気比神宮や中心市街地で敦賀まつりが開催されました。

当社は、げんでんファミリー（日本原子力発電(株)、原電エンジニアリング(株)）として、2日の「お祭り広場」へのブース出展、3日の「御鳳輦巡幸」^{ごほうれんしゅんこう}、「神輿渡御」^{みこしとぎよ}、「カーニバル大行進」、4日の「山車巡行」に延べ約90名が参加しました。

当社は、今後もより一層、地域の皆さまとのふれあいを大切に、地域の一員として行事への参加や様々なコミュニケーション活動に積極的に取り組んでまいります。*民謡踊りのタベは、雨天のため中止となりました。

9月2日
お祭り広場での
ブース出展

9月3日
神輿渡御
カーニバル大行進

<神楽商店街お祭り広場>



げんでん LINE 友達登録
ガラポン抽選会の様子



紙コップ糸でんわ工作の様子

<相生商店街お祭り広場>



写真キーホルダー作りの様子



神輿渡御に参加



カーニバル大行進では、九州日向（宮崎県）地方のひょっとこ踊りで参加



(2)「第15回越前さかなまつり」出展

9月21日、道の駅越前で開催された「第15回越前さかなまつり」にブースを出展し、約330名がご来場され、思い出となるよう、撮影した写真を当社ロゴ入りの写真キーホルダーにしてお渡ししました。

当社は、今後も地域の行事に協力し、地域の皆さまとのコミュニケーションを深めてまいります。



「第15回越前さかなまつり」の様子

(3) 秋のイベントへのブース出展情報

夏に引き続き、イベント目白押しの季節です。お誘い合わせのうえ、是非おこしください。

出展日	イベント名	会場	内容
10/5 (日)	ふくまむ祭 2025 10:00～15:00 頃（出展時間）	福井新聞社 本社 1 階・2 階 （福井市大和田 2-801）	げんでん LINE 友達登録キャンペーン 写真キーホルダー
10/12 (日)	WAKAFES2025 11:00～17:00（出展時間）	若狭さとうみパーク （若狭町北前川 26-10）	写真キーホルダー （数量限定のため、なくなり次第終了）
10/26 (日)	こどもの広場	原子力の科学館あっとほうむ （敦賀市吉河 37-1）	磁石ゲーム ・磁石で魚釣り ・磁石 UFO レース

4. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ



◀こちらから敦賀総合研修センターのホームページをご覧ください

敦賀総合研修センターでは、2025 年度 30 コースの公開研修の開催を予定しており、以下はお申込み期間間近となっている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細内容、応募方法ならびに受講料につきましては、当社ホームページをご覧ください。<https://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/>

研修名	研修概要	研修期間	申込み期限
原子力新技術コース	世界の原子力情勢と今後の展望、次世代炉の開発動向などについて学びます。 なお、受講者は初歩的な原子力発電の知識を有していることが望ましい。	11月14日 (1日間)	10月3日
根本原因分析手法コース	事故やトラブルの原因分析に使われる S A F E R (Systematic Approach For Error Reduction) を理解し、問題の根本的な原因を明らかにする手法を学びます。 本コースで学ぶ手法は原子力産業の現場だけでなく、一般産業のあらゆる場面でも活用できます。	11月12日～ 11月13日 (1.5日間)	10月3日
低圧開閉装置メンテナンスコース	発電所や工場などの配電盤に使われている低圧開閉装置の仕組み、動作や点検方法について学びます。	11月20日～ 11月21日 (2日間)	10月10日
確率論的リスク評価コース	原子力発電所における、様々な事故の発生頻度を確率論的に求め、そのリスクを評価します。この研修では、確率論的リスク評価(PRA)の基礎知識や具体的な評価手法を学びます。 なお、受講者は初歩的な原子力発電所の知識を有していることが望ましい。	11月26日～ 11月27日 (2日間)	10月17日
労働安全衛生コース	従業員や作業員を災害から守るために労働安全衛生法の基礎知識及び安全管理の手法の一つである労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)について学びます。 また、現場作業の危険性を疑似体験することにより安全意識の向上を目指します。 本コースは原子力発電所の作業現場に限らず、一般作業現場においても有益な研修です。	12月1日～ 12月2日 (2日間)	10月22日
原子力エネルギーコース	エネルギー資源を海外からの輸入に頼っている我が国の現状を理解し、福島第一原子力発電所の事故後の地球温暖化への対応を含めた我が国のエネルギー政策について学びます。	12月5日 (1日間)	10月24日
弁メンテナンスコース	様々な弁の構造、特徴やトラブル事例などを学習するとともに、一般的に使用されている弁を用いて、分解・点検・組立実習を行い、保守点検を実施する場合の基本的な知識・技能を学びます。	12月3日～ 12月4日 (2日間)	10月24日
原子力入門コース	原子炉での核分裂など原子力発電の基本的原理を理解するとともに、原子力発電所で使われる代表的な機械設備と電気設備の概要などを学びます。 核分裂や連鎖反応など、原子力発電の概念を学びたい方にお勧めします。	12月9日～ 12月10日 (2日間)	10月30日
リスクコミュニケーションコース	リスクコミュニケーションとは、リスクに関する情報や意見を関係者間で交換し、その問題の理解を深め、お互いの信頼を醸成することを通じて、より良い決定を目指すコミュニケーションです。この研修では、専門家による講義やロールプレイング（役割演技）、参加者同士の意見交換を通じて、リスクコミュニケーションの方法やあり方を学びます。また、当社が実践している双方向コミュニケーションの事例もご紹介します。 リスクコミュニケーションの手法は、環境や食品安全などの分野で実践されており、原子力に限らず、多くの分野でも非常に有益です。そのため、広報業務に携わっていない方、技術者の方、他産業の方、学生の方にもお勧めします。	12月11日～ 12月12日 (2日間)	10月31日

公開研修に関する
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター（敦賀市杵見165号9番地6）
電話：0770-21-9700 FAX：0770-21-9726（研修申込み専用）
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp

